

他機関提供

京都大学附属病院を受診された患者様並びに京都大学の研究に試料を提供いただいた皆様へ

本学では他の研究機関で行われる臨床研究のため、本学に保管されている試料、情報を提供しています。本研究の対象者に該当する可能性のある方で、試料や診療情報等を研究目的に提供されることを希望されない場合は、下記の申し出先・問合せ先にご連絡ください。提供を拒否されても不利益を被ることはありません。

1 研究課題名	癒着胎盤における MRI 拡散強調像の有用性について
2 研究責任者の氏名と所属 研究機関の名称	西江 昭弘 琉球大学大学院医学研究科放射線診断治療学講座
3 研究期間	2024 年 9 月 27 日 ~ 2029 年 3 月 31 日
4 共同研究機関等の名称 と各施設の責任者の氏名	共同研究機関、研究協力機関の名称と研究責任者の氏名 なし 診療情報提供機関の名称と責任者の氏名 京都大学医学部附属病院放射線部、助教、樋本 祐紀 信州大学医学部画像医学教室、助教、大彌 歩 神戸大学大学院医学研究科内科系講座 放射線医学分野、 特命准教授、坪山 尚寛 筑波大学 医学医療系 放射線診断・IVR 学、講師、齋田 司 鳥取大学医学部画像診断治療学分野、教授、藤井 進也
5 承認した倫理審査委員会と研究機関の長の許可	琉球大学人を対象とする生命科学・医学系研究倫理審査委員会で承認され、琉球大学長の許可を得ています。
6 研究の目的と意義	本研究の目的は、癒着胎盤の MRI 拡散強調像の所見について評価し、その有用性を明らかにすることです。癒着胎盤の MRI 診断の有用性については多数の報告があり、MRI による画像診断が重要視されています。MRI は分娩時の治療計画にも役立つ可能性が高く、高次医療機関では必須の画像検査となりつつあります。2020 年米国腹部放射線学会と欧州泌尿生殖器学会は、癒着胎盤の MRI についての指針を上梓し、これまで統一されていなかった MRI 撮像法や MRI 所見の定義、レポート記載事項等についての推奨を明記しました。この指針の中で MRI のシーケンスとして T2 強調像の重要性が記述されていますが、拡散強調像に関しては有用性がある可能性を示唆しつつも、エビデンスが少ないため現時点で有用性は限られているとしています。本研究で拡散強調像の有用性が明らかとなれば、癒着胎盤の MRI 診断能の向上が期待され、患者予後の向上に貢献できる可能性があります。
7 対象となる試料・情報の	2010 年 1 月から 2024 年 3 月の間に、京都大学医学部附属病

他機関提供

取得期間等	院産科婦人科にて癒着胎盤あるいは前置胎盤と診断され、MRIが施行された患者様を対象とします。
8 試料・情報の提供予定日	2025年1月10日
9 研究の方法と提供する試料や情報の項目	年齢、診断名、妊娠出産歴、帝王切開既往回数、手術歴、不妊治療歴、MRI画像、MRI撮影時週数、MRI撮像機器・シーケンス、MRI所見、超音波所見、胎児発育、分娩・手術記録(分娩時週数、分娩方法、手術所見、手術時間、術中出血量)、摘出子宮の病理組織所見(癒着胎盤の有無、癒着の範囲、深達度)。
10 試料・情報の他研究機関への提供およびその提供方法について	提供する電子カルテの情報から、氏名や住所等の患者様を直接特定できる個人情報は削除しますので、患者様の個人情報が研究利用の段階で漏洩することはありません。MRI画像についても同様です。研究結果は学会等で発表の予定ですが、その際に患者様を特定できる個人情報は利用しません。
11 外国への提供の有無 (当該外国名、個人情報保護制度、受領者が講ずる個人情報保護に関する措置)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 (有の場合は、さらに情報も記載)
12 提供機関の長の氏名	京都大学医学部附属病院長 高折 晃史
13 試料・情報の管理・提供責任者の氏名	京都大学医学部附属病院 放射線診断科助教 樋本 祐紀
14 試料・情報の提供の辞退に関するお申し出先・お問合せ先	郵送先: 〒606-8507 京都市左京区聖護院川原町 54 放射線部 助教 樋本 祐紀 電話: 075-751-3760 樋本 祐紀 Email: yhimoto@kuhp.kyoto-u.ac.jp
15 備考・その他 (参照 URL 等)	